

みんな！！四国行こうよ！！

琴電・しまかぜ乗ろうぜ！！

こんにちは、路線研究課です。

今回は2018年3月31日～4月4日に行った、四国方面への鉄研旅行の旅行記を書きたいと思います。

今回もJRの普通・快速列車の自由席が乗り放題になる青春18きっぷを使いました。

〈一日目〉(東京～大阪F T)

東京 08:11 → → 中央線 中央特快 高尾行 → → 高尾 09:09

東京駅に07:50に集合し、五日間の四国への旅が始まります。まずは中央線の中央特快に乗って高尾に行きます。車両はE233系でした。土曜日だったということもあり、車内は空いていました。



高尾 09:20 → → 中央線 普通 甲府行 → → 甲府 10:52

高尾到着後甲府行に乗り換えます。車両は211系のロングシート車両でした。車内は登山客や旅行客で混み合っているお客さんもいました。途中の勝沼付近では甲府盆地がよく見えました。

甲府 10:57 → → 中央線 普通 松本行 → → 塩尻 12:35

甲府で松本行に乗り換え塩尻まで行きます。乗り換え時間が短いため多くの乗客が急いで乗り換えをしていました。



塩尻 13:08 → → 中央線 普通 中津川行 → → 中津川 15:14

塩尻からはJR東海に入ります。ここから岐阜県の中津川までは普通列車の本数がかなり減ります。車両は313系でした。木曾川と並行するため眺めがとても良く、途中の上松付近では車内から国の名勝である寝覚の床を見ることができました。中津川からは多治見に向かいます。

中津川 15:20 → → 中央線 快速 名古屋行 → → 多治見 15:59

ここからは普通列車の本数・両数が一気に増えます。乗車したのは211系+313系の併結列車でした。名古屋の通勤圏に入り車内も少しずつ混んできました。途中の多治見駅で降りコンビニで夕食を購入します。



多治見 16:21 → → 太多線・高山線 普通 岐阜行 → → 岐阜 17:32

多治見からは太多線に乗り換え岐阜まで行きます。太多線は多治見～美濃太田を結ぶ路線で単線非電化です。車両は「快速みえ」などに使われるキハ75系でした。車内は全席クロスシートになっています。混雑していましたが、なんとか席を確保することが出来ました。



岐阜 17:51 → → 東海道線 新快速 米原行 → → 米原 18:39

岐阜からは東海道線に乗ります。種別は新快速ですが終点の米原まで各駅に停まります。この区間は峠を越えるので急な坂があり迂回線があることで有名です。

米原 18:47 → → 東海道線 新快速 播州赤穂行 → → 大阪 20:13

米原からは新快速 播州赤穂行に乗り換えます。車両は 223 系でした。この列車も全席クロスシートになっていてとても快適でした。新快速は最高速度 130 km/h で走るので駅を一瞬で通過してしまいます。そんな新快速に乗り夕食を食べているとあっという間に大阪駅に着きました。大阪駅で乗り換える際にエスカレーターが右寄せなので大阪に来たと感じました。



大阪 20:25 → → 大阪環状線 快速 日根野行 → → 弁天町 20:32

大阪駅で大阪環状線に乗り換えます。同じ環状線でも東京の山手線と違いすべての列車が環状運転をするのではなく、一部の列車は和歌山や関西空港、奈良方面へ行きます。天王寺から阪和線に入る快速日根野行に乗車し、弁天町に行きます。前の列車がすぐ近くにいいのか、弁天町までずっと低速運転でした。

弁天町 → → 大阪市営地下鉄中央線 普通 コスモスクエア行 → → コスモスクエア

弁天町からは大阪市営地下鉄中央線に乗ってコスモスクエアに行きます。旅行当日の 3/31 は大阪市営地下鉄最終日であったので大阪市営地下鉄の写真を撮ったり、録音をしたりしていた部員が多かったです。翌日の 4/1 からは Osaka Metro と名前を変えました。



コスモスクエア → → 大阪市営ニュートラム 住之江公園行 → → フェリーターミナル

コスモスクエアからはニュートラムに乗車します。ニュートラムは新交通システムの鉄道で雰囲気はゆりかもめと似ています。この列車は無人運転なので先頭の座席から大阪の夜の港の夜景を眺めることができました。

大阪南港 FT22:00 → → 四国オレンジフェリー → → 東予港 6:00

大阪フェリーターミナルに到着し、顧問の先生から乗船券をもらいフェリーに乗船します。今回乗船するフェリーは四国オレンジフェリーのオレンジ7でした。乗船後は風呂に行き、甲板に出て高校生になる瞬間を迎えました。



〈二日目〉(東予港～高松)
おはようございます。二日目です。

2 日目は東予港から琴電琴平駅まで約 8 時間 30 分の自由行動です。

東予港 06 : 20 → → 連絡バス今治行 → → 今治 07 : 03

今治 07 : 15 → → しまなみライナー → → 福山 08 : 49

前日乗ったオレンジフェリーは 6 時 00 分頃東予港に着き、

私たちは連絡バスに乗って今治駅に出了ました。今治駅からは高速バスのしまなみライナーに乗り、西瀬戸自動車道を通って本州側の福山駅に來ました。何のためにフェリーで四国に渡ったのかわからなくなりましたが(笑)、瀬戸内海のきれいな海を堪能することができました。



↑ 朝の工業地帯



↑ しまなみライナー路線図



↑ 5 月いっぱい、塗装がハローキティに変わってしまった EVA 新幹線

福山 09 : 35 → → JR 福塩線 普通・府中行 → → 神辺 09 : 47

神辺 10 : 12 → → 井原鉄道 普通・総社行 → → 総社 11 : 13

総社 11 : 16 → → JR 桃太郎線 普通・岡山行 → → 岡山 11 : 51



↑ 電化区間で使用される 105 系



↑ I R T 355 気動車

福山駅でもうすぐ引退のEVA新幹線を撮影し、ここから岡山まで山陽本線ではなく JR 福塩線、井原鉄道、JR 桃太郎線を使って岡山まで行きました。

105系0番台府中形で神辺、神辺からの井原鉄道はほとんどの区間が高架で国鉄のお金が無くなって開業できなかった路線を第三セクターが引き継いだ路線なので、速度がとても速かったです。また、清音駅では無線の周波数切り替えがあり、12分ほど停車しました。

その間に多数の客が下車しました。井原鉄道の清音～総社間はJRと同じ線路を使うのに青春18きっぷが使えないという不思議なことがありました。

総社でのJR桃太郎線乗換は3分で1番線から6番線までを移動するという乗換時間の少なすぎる乗換でした。桃太郎線では発車するたびに♪ももたろさん、ももたろさん…とメロディが流れました。



岡山 12:42 → JR 瀬戸大橋線 快速マリンライナー号・高松行 → 坂出 13:20

坂出 13:30 → JR 予讃線 快速サンポート南風リレー・松山行 → 多度津 13:44

多度津 13:58 → JR 土讃線 普通・阿波池田行 → 琴平 14:13

岡山で時間があつたので、駅弁を買ってホームで食べました。岡山駅は6路線+山陽新幹線の全ての列車が停車する大きな駅で、岡山県の県庁所在地です。



↑マリンライナー5000系



↑元はくろしおで使われていた、381系

いよいよ瀬戸大橋を渡ります。岡山からマリンライナーに乗りました。ちなみに、マリンライナーの車内でグループの一人が岡山駅に切符を置き忘れて、琴電の貸切に遅れるという事件を起こしました…。くれぐれも、忘れ物には気を付けましょう。

児島を過ぎて、車&鉄道兼用の瀬戸大橋をわたると坂出に着き、約7時間ぶりに四国に戻ってきました。坂出では♪瀬戸の花嫁…が流れ、四国に来たことを感じました。ここからはJR四国の各路線に乗車していきます。多度津に行くと、アンパンマン列車にすれ違いました。このほか四国では4種類のアンパンマン列車が走っています。坂出から快速サン

ポート松山行、阿波池田行に乗りかえて琴平に向かいます。快速サンポートは、多度津までは快速ですが、そこからは終点まで各駅停車です。多度津からは1両編成のディーゼルカーに変わります。琴平までは電化ですが琴平から先は、非電化のためです。



琴平→→→徒歩→→→琴電琴平

琴電琴平→→→貸切→→→仏生山（車庫見学）

仏生山→→→貸切→→→高松築港

貸し切った車両は、1000形120号（大正15年）、20形23号（大正14年）です。20形23号は大阪鉄道（現 近鉄南大阪線）デロ20型を種車に、近鉄モ5621系を経て昭和36年に琴電に入線しました。1000形は、琴電開業時からいる汽車会社で製造された車両で両運転式の半鋼製電動車になります。当時の地方鉄道としては贅沢な車両です。現在は120号がイベント列車用として在籍しています。暖房装置はどちらもありますが、冷房装置はどちらもないため、扇風機が設置されています。サービスとして各駅に運転停車していただきました。駅で待っているお客さんたちが「何で電車が来ているのだろう」という風に見ていました（笑）





↑ 20 形 23 号の運転台



↑ 20 形 23 号と 1000 系 120 号の連結部

20 形 23 号の運転台は当時のまま管理されています。連結部は無理やりつないであつたので、すごくガタガタしていました。



↑ 20 形 23 号の車内



<仏生山での車庫見学>

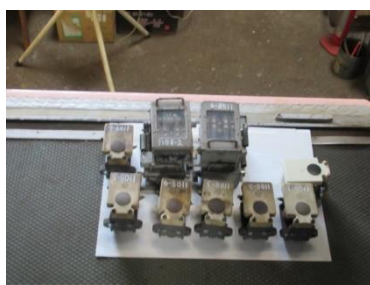
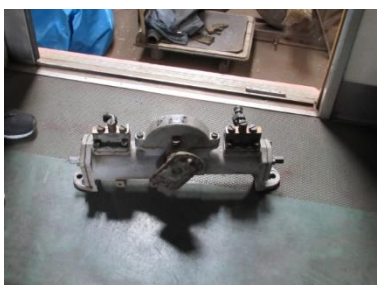
高松琴平電気鉄道の車両基地は仏生山にあります。ここでは、車両の重要部検査を行っています。

駅をはさんで反対側に車庫がありました。車庫内では、元京王旧 5000 系と元名古屋市営 250 系が重要部検査を受けており、また、デカ 1 号が車庫前の線路に留置されていました。

↓元名古屋市営 250 系

↓元京王旧 5000 系

↓留置されているデカ 1 号



<琴電の車両たち>

↓元京王電鉄旧 5000 系の 1100 形、



↓元京浜急行 1000 形の 1080 形、



↓琴電開業時から活躍している 300 号



車庫見学終了後、高松築港から今日泊まる「スーパーホテル 高松・田町」に向かいました。最寄駅が瓦町だったので、再び琴電で瓦町に行きました。ホテルの前には、はなまるうどんがあったので、そこで夕食を済ませました。(うどん県に来たのに… 笑)

<三日目>～大自然サイクリング～

この日は、一日中自由行動だったので、私たちの班は高松駅 5 時 17 分発の特急に乗る予定でした。私は、3 時半に起き、出発の用意をしてホテルの廊下で班員と合流しました。しかし、班員のある 1 人がいなかったのです。彼は、寝坊していました。そのことに気付いた私たちは、電話をかけたりしましたが、一向に彼は起きず、無情にも 5 時 17 分を過ぎてしまいました。結局、彼が起きたのは 7 時頃でした。



瓦町 07:08→→→琴電琴平線 普通 高松築港行→→→高松築港 07:13

ここから、高松駅まで歩きました。

高松 07:37→→→JR 予讃線 特急いしづち 101 号 松山行→→→松山 10:05

高松駅では、サンライズ瀬戸と遭遇したため、私は、特急の発車時刻ギリギリまで撮影していました。結局、私たちが乗ったのは予定より 2 時間 20 分後の特急でした。私は、早起きだったせいか寝不足で、車内ではほとんど寝ていました。

松山 10:14→→→JR 予讃・内子線 特急宇和海 9 号 宇和島行→→→宇和島 11:31

松山駅では、私たちと同じように宇和海に乗り換える人が多くいましたが、私たちは運よくまとまって座ることができました。私は、進行方向とは逆向きのシートに座っていたのですが、時間が経つにつれて、私に吐き気が襲ってきました。私は完全に酔ってしまいました。私は、吐き気に何とか打ち勝ち、無事に宇和島駅に着きましたが、進行方向と同じ向きのシートに座ればよかったと後悔しました。

宇和島 11:36→→→JR 予土線 普通 窪川行→→→江川崎 12:43

途中、伊予宮野下駅で鉄道ホビートレインとすれ違いました。さらに、江川崎に近づくにつれて、車窓から四万十川がはっきりと見えてきました。鮮やかな四万十川の絶景に見とれていたなら、あっという間に江川崎駅に到着しました。

江川崎駅の駅舎の中に入ると、「ようこそ 日本一暑い駅へ」という看板が目飛び込んできました。看板の通り、ここ江川崎駅のある四万十市は、国内観測史上最高気温を記録したこともある猛暑地なのです。そのため、私たちが訪れたのはまだ4月上旬でしたが、長袖では耐え切れないほどの暑さでした。

私たちは、ここ四万十川で4時間サイクリングをすることとなりました。四万十川には、沈下橋という柵のないコンクリート製の橋が多くあるので、私たちは、それらを巡りながら、四万十川沿いをサイクリングすることとなりました。そして私たちは、江川崎駅から15kmほど離れた口屋内沈下橋という沈下橋を目指すことにしました。

序盤は、道の駅や民家がある場所を走っていたのですが、途中から、人通りの少ない木々の生い茂る場所などを通るようになりました。しかし、徐々に道路と川の距離が近くなり、走りながら四万十川を確認できるようになりました。そして、木々のない開けた場所からは、四万十川の絶景を眺めることができました。

しばらくして、岩間沈下橋という沈下橋に到着しました。私たちは、沈下橋を渡ろうとしたのですが、運悪く工事中で立入禁止でした。仕方なく、私たちは口屋内沈下橋に向けてすぐに出発しました。途中、田園風景などを眺めることができました。そして、目的地の口屋内沈下橋に到着しました。

私たちは、今度こそ沈下橋を渡れると思い沈下橋の目の前に来ました。しかし、この沈下橋も立入禁止でした。そして、自転車の返却時間が迫っていることに私たちは気づいてしまいました。私たちは、他の沈下橋を泣く泣く諦めて、江川崎駅に向け引き返しました。

途中、行きとは違うルートを進んだため、私たちは網代トンネルという全長2kmにも及ぶトンネルを通ることとなりました。トンネルの中は、風が吹いていてとても涼しかったです。涼しい風によって汗も乾き、快適なサイクリングをすることができました。そして、あっという間に江川崎駅に到着しました。しかし、行きより速いスピードで戻ったため、自転車の返却時刻まであと45分ほどありました。そのため、私たちはその時間を利用して、江川崎駅から3kmほど離れた長生沈下橋に行きました。私は、どうせこの沈下橋も立入禁止なのだろうと思っていたのですが、なんとこの沈下橋は立入可能でした。私たちは、沈下橋を渡り、記念に写真撮影などをしました。沈下橋は、川のすぐ上に架かっており、柵もないので、落ちそうで怖かったのですが、橋から見る四万十川は大迫力でした。

その後、江川崎駅に自転車を返却しにいくと、鉄道ホビートレインが停車してい



ました。夕焼けの中走る鉄道ホビートレインは、本物の 0 系だと一瞬思ってしまうほどカッコよかったです。

サイクリング終了後、私たちが乗る予定の列車まで 1 時間 40 分ほどあったので、私たちは駅から徒歩 10 分の道の駅に行きました。道の駅には、鉄道模型とジオラマが展示されており、模型の運転もできたので、私たちは時間を忘れて楽しんでいました。

そして、私たちは夕食を摂るために、道の駅の近くの飲食店に行きました。飲食店内にはテレビがあり、東京ではほぼ流れない、J2 の愛媛 FC についてのニュースや JFL (J リーグのさらに下のリーグ) の FC 今治についてのニュースが流れており、本当に四国に来たんだなあ実感させられました。ゆっくりと食べていたため、私たちが飲食店を出たのは、電車の発車する 10 分前でした。私たちは、その電車に乗れないとホテルのある高知にたどり着けないと知っていたため、食後にも関わらず大急ぎで走り、何とか発車時刻の 2 分前に電車に乗り込むことができました。

江川崎 18:39 → → JR 予土線 普通 窪川行 → → 窪川 19:37

サイクリングをみんなで振り返っていたら、いつの間にか窪川に着いていました。窪川では、時間があつたので、駅近くにある四万十町役場に行きました。ガラス張りの渡り廊下などもある近代的な建物だったので、そういう建物が好きな私は少し興奮していました。窪川駅の駅舎内には、プラレールが展示されており、少しの時間を楽しみました。

窪川 20:12 → → JR 土讃線 特急あしずり 12 号 高知行 → → 高知 21:15

私たちの乗った特急あしずりは、土讃線の終電だったのですが、私たちは運よく座ることができました。私は、線路の隣にある高速道路を走る車をずっと眺めていました。

高知駅前 21:34 → → とさでん 棧橋線 普通 棧橋車庫前行 → → はりまや橋 21:38

はりまや橋 21:44 → → とさでん 伊野線 普通 鏡川橋行 → → グランド通 21:50

停留所到着後、近くのビジネスホテルまで行き、宿泊しました。

〈四日目〉 (高知—岡山)

おはようございます。書いている途中で気づいたのですが、ルートが三日目とかぶっているところが多いです。どうかご容赦下さい。

グランド通 → → とさでん 伊野線 → → はりまや橋 → → とさでん 棧橋線 → → 高知駅前
まず、とさでんに乗車し高知駅まで向かいます。車両はついこの間 (2018 年 3 月) に入った 3000 形で、車内はととても快適でした。



高知 08:20 → → JR 土讃線 特急しまんと 1 号 中村行 → → 窪川 09:26

高知駅からは土讃線の特急しまんとに乗車し窪川まで向かいます。春休みなのでそれなりに混んでいましたが、高知駅で降りるお客さんも多く、座ることができました。途中の伊野駅まではとさでん交通伊野線と並行して走ります。



窪川 09:40 → → JR 予土線 普通 宇和島行 → → 宇和島 12:15

窪川からは予土線にのりかえ宇和島まで行きます。車両はキハ32系の鉄道ホビートレインでした。車内はロングシートですが、実際の0系新幹線で使われたシートやプラレールを展示してありました。車内は大勢の部員が乗ったこともあり座席は埋まり、立ち客も若干出ていましたが、なんとか座席に座ることはできました。



予土線は四万十川と並行して走るのので、景色がとてもよく、列車もそれなりにスピードを出すのでとても快適でした。途中の江川崎駅で対向列車の待ち合わせのため長く停まるので写真を撮影したり、駅舎を見に行ったりしました。列車はその後も快調に飛ばし宇和島駅に到着しました。

宇和島 12:56 → → JR 予讃線 特急宇和海 16号 松山行 → → 八幡浜 13:26

宇和島駅で昼ご飯を購入し、特急宇和海号に乗り込みます。この列車はアンパンマン列車で運転されていたのでアンパンマンの塗装がされていました。昼ご飯を食べていると、あっという間に降りる駅である八幡浜駅に到着しました。



八幡浜 13:47 → → JR 予讃線（愛ある伊予灘線） 普通 松山行 → → 松山 15:54

ここ八幡浜では路線が二つに分かれ一つは宇和海などの特急なども走り内子を経由する内子線、そしてもう一つがこれから乗車する予讃線（愛ある伊予灘線）です。

後者は都市間を結ぶ速達特急は走らないものの、土休日などには観光列車の「伊予灘ものがたり」が走るなど伊予灘の美しい海を眺めることが出来る路線として知られています。



車両はキハ32系です。乗車率は座席が4割埋まる程度でとても快適でした。50分程度乗車すると下灘駅という青春18きっぷのポスターでホームから見る伊予灘が絶景だと有名な駅に到着します。時間がなく車内から眺めるだけでしたが、海が近くとてもきれ

いでまたいつか訪れたいと思いました。ここからたくさんの観光客の方が乗ってきました。この路線ではほかの区間でもたくさん海を眺めることができるのでとてもおすすめです！

松山 16:28→→JR 予讃線 特急しおかぜ 26号 岡山行→→児島 18:50

松山駅に到着後、予讃線の特急しおかぜに乗り換えます。車両は8000系でした。車内では友人と喋ったり、ゲームをしたりして過ごしました。宇多津で高松行の「いしづち」を切り離し、瀬戸大橋線に入ります。車内では瀬戸大橋の説明などがありました。



瀬戸大橋を過ぎに下車駅の児島に到着しました。

ここからはもう本州です。瀬戸大橋線の普通列車に乗り換え、茶屋町駅に向かいます。

児島 18:55→→JR 瀬戸大橋線 普通 岡山行→→茶屋町 19:09

茶屋町 19:40→→JR 宇野線 普通 宇野行→→宇野 20:04

宇野 20:28→→JR 宇野線 普通 岡山行→→岡山 21:25

茶屋町からは宇野線に1往復乗車します。日はすでに暮れていますが、港町の明かりがきれいでした。宇野駅はかつて宇高連絡船によって栄えていましたが、瀬戸大橋線の開通に伴い、連絡駅としての使命を終えました。現在では駅前広場の再開発などもありその名残を見ることができませんでした。先ほどまで乗ってきた電車で再度乗車し岡山駅まで向かいます。岡山では東横インに宿泊しました。



〈五日目〉(岡山—東京)

おはようございます。四国旅行ももう五日目です。五日目は、岡山→(JR)→和田岬→(JR)→大阪→(Osaka Metro)→大阪難波→(近鉄特急しまかぜ)→鳥羽→(JR・伊勢鉄道)→名古屋→(JR)→東京 という行程でした。

岡山 06:14→→JR 山陽線 普通 姫路行→→相生 07:20

岡山からひたすら JR で東へ。岡山から姫路方面へ向かう初電でしたが、かなり混雑していました。そのため私たちは座ることができませんでした。

相生 07:22→→→JR 山陽線 新快速 野洲行→→→明石 08:19
相生から新快速でさらに東へ。朝ラッシュ帯ともあつてか、車内はかなり混雑していました。



明石 08:22→→→JR 山陽線 快速 大阪行→→→兵庫 08:34
こちらの電車も混んでいました。

兵庫 08:46→→→JR 和田岬線 普通 和田岬行→→→和田岬 08:50
和田岬 08:55→→→JR 和田岬線 普通 兵庫行→→→兵庫 08:59

103 系の引退で話題となっている和田岬線に一往復乗車しました。この路線は和田岬への通勤通学路線なので、朝と夕方だけの運転となっており、日曜日は 1 日に 2 本しかありません。途中には川崎重工業の工場があり、製造中の広島地域向けの新型車両である 227 系を見ることができました。



兵庫 09:06→→→JR 山陽線 普通 高槻行→→→神戸 09:08
神戸 09:18→→→JR 東海道線 新快速 野洲行→→→大阪 09:43
梅田→→→Osaka Metro 御堂筋線→→→なんば
大阪難波 10:40→→→近鉄特急しまかぜ 賢島行→→→鳥羽 12:31

和田岬線乗車後、大阪難波まで向かい近鉄特急しまかぜに乗車しました。私は今回が初めての乗車でした。座席は 2+1 配列でまるでグリーン車のようで非常に快適で、車内ではビュッフェなど様々な設備もあり鳥羽までの 2 時間の旅はあっという間でした。車内で昼食を摂ることができました。私たちは JR に乗り換えるので、終点の賢島までは行かずに、途中の鳥羽で下車しました。



鳥羽 13:07→→→JR 参宮線 快速みえ 14 号 名古屋行→→
→名古屋 15:06

鳥羽からは2両編成の快速「みえ」で名古屋まで向かいました。車両はキハ75系でした。この快速「みえ」は、上下線とも毎時1本運行されており、1号車の一部の座席が指定席となっています。指定席はそこそこ混んでいましたが、自由席は空いていたため、座席を容易に確保することができました。



名古屋 15:46→→→JR 東海道線 特別快速 豊橋行→→→豊橋 16:39
豊橋 16:42→→→JR 東海道線普通 浜松行→→→浜松 17:16
浜松 17:20→→→JR 東海道線普通 熱海行→→→熱海 19:52
熱海 20:03→→→JR 東海道線 快速アクティー 宇都宮行→→→東京 21:44

名古屋からは JR でひたすら東海道線を上り帰京しました。名古屋からの特別快速が遅れた影響で、豊橋駅での乗換がかなりギリギリになるハプニングがありましたが、なんとか予定通り帰京することができました。車内にて流れ解散し、私は京浜東北線で帰宅しました。

